

変形性股関節症

～症状、治療について～

Q どんな症状ですか？

股関節由来の痛みとして最も頻度が高いのは、股関節前方の「鼠径部痛」です。これに次いで多い症状は、臀部痛や大腿部痛です。時には膝や下肢全体の痛みを訴えられることもあるため、痛みの原因を正確に特定することが重要です。

最初は立ち上がりや歩き始めに痛みを感じ、進行するにつれ痛みが持続したり、夜間痛（夜寝ていても痛み）に悩まされることがあります。痛みだけでなく、関節の動きも悪くなってくるため、日常生活では靴下が履きにくくなったり、足の爪切りがしにくくなります。長時間立ったり歩いたりすることがつらくなってくるため、日常生活に支障をきたすようになります。

Q どうやって診断しますか？

Q どんな治療法がありますか？

まずは患者さんの症状を詳しく確認した上で、必要な画像検査を進めます。痛みの原因が股関節にあると考えられる場合は、同部のレントゲン検査やCT検査を進めます。股関節痛の原因となる疾患として多いのは、股関節に変形をきたした変形性股関節症ですが、その程度や原因は様々です。欧米に比べて日本では、生まれつき股関節のつくりが浅い、寛骨臼形成不全と言われる病態が原因となっていることが多いことが特徴です。

治療目標は、症状を和らげることと、関節の変形進行を抑制することです。そのために、まず関節の負担を減らして大事に使うということが大切です。心理的抵抗がなければ杖の使用をお勧めしますし、もし過体重があるようでしたらダイエットも有効な方法です。必要に応じて痛み

止めの使用も可能です。痛みがあるとしても歩かなくなり筋肉が衰えてしまいます。そこで運動療法として、股関節周囲筋の筋力強化訓練とストレッチが有効です。ただし運動療法は関節痛を誘発してしまう可能性がありますので、慎重に始めて徐々に強度を高めていくことが重要です。

これらの治療に効果があまりみられない場合や、変形の進行が著しい場合などには手術的な治療が検討されます。原則として、自分の骨で関節を長持ちさせることを目的とする「骨切り術」の適応の有無がまず考慮されますが、適応がなければ「人工股関節置換術」が選択されます。近年、人工股関節置換術の成績が安定してきており、骨切り術は概ね50歳以下の変形が軽度な患者さんに適応が限られてきています。変形性股関節症の原因となる代表的な疾患について述べます。

寛骨臼形成不全

生まれつき股関節のつくりが浅く、若い時から痛みに悩まされる、女性に多い病態です。変形が軽度であるにも関わらず症状が強い場合には、骨切り術によって関節を長持ちさせることが可能な場合があります。骨盤の一部の骨をノミで切って動かす寛骨臼回転骨切り術（図1）を検討することが多いのですが、術後リハビリのために1・5～2ヶ月程の入院加療が必要となり、仕事や日常生活の忙しい現役世代にはなかなか受け

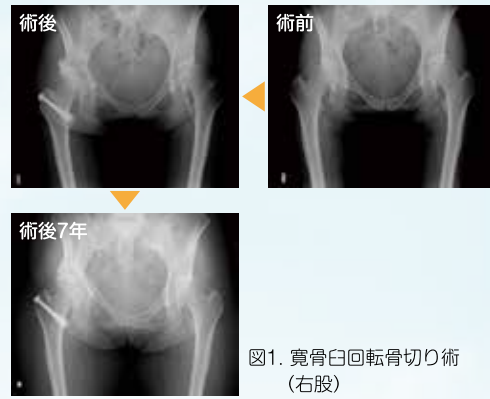


図1. 寛骨臼回転骨切り術（右股）

入れられにくいのが事実です。他の選択肢として、人工股関節置換術を行い、早期社会復帰を目指すことも可能です。変形が進行している場合は一般的に人工股関節置換術（図2、3）が適応となります。

大腿骨頭壊死

いろいろな原因によって、大腿骨頭の圧壊変形が進行し、いずれ股関節全体が変形してしまう病態です。明らかな原因が不明なものもありますが、内科的な病気などに対して使用されるステロイドというお薬やアルコール愛飲との関連が指摘されることもある病態です。特に若い患者さんで、壊死範囲が限定されており、圧壊変形をきたしていない場合には、大腿骨の骨切り術が検討される場合があります。骨盤の骨切り術と同様、慎重な術後リハビリが必要のために入院期間が長くなることが欠点です。長期入院が受け入れられない場合には、変形が軽度でも人工股関節置換術が検討されます。変形が進行している場合は、一般的に人工股関節置換術（図4）が適応となります。

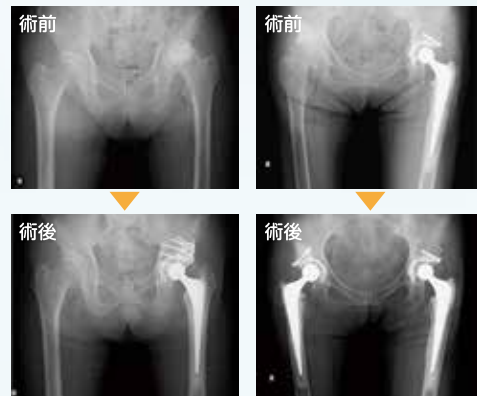


図3. Impaction Bone Grafting 併用人工股関節置換術（左股）

図2. 塊状骨移植併用人工股関節置換術（右股）



図4. 人工股関節置換術（左股）

これら以外にも股関節に変形をきたす疾患はありますが、患者さんそれぞれのニーズに合った治療法を相談させていただきます。股関節痛でお悩みの方は、ぜひ一度ご相談下さい。

今月の先生 山本 孝敏

○専門分野
股関節外科、一般整形外科

○役職
整形外科部長

○主な資格、認定

日本整形外科学会専門医

日本人工関節学会認定医

日本股関節学会

○卒業年、主な職歴

平成12年 岐阜大学医学部卒

平成30年 Princess Elizabeth Orthopaedic Centre
(イギリス、エクセター)

